

西大和つうしん

2015年 8月号

No.398



2015年7月12日：百合ヶ岳

奈良県勤労者山岳連盟
西大和山の会

西大和つうしん

第398号(2015年8月号)

【目次】

8 月度山行計画	1
8 月度・9 月度カレンダー	2
山行・行事等参加メモ	3
山行報告	
・訓練山行 《6月20日》 台高の山 高見山北尾根・黒石山(亀井)	4
・例会山行 《6月28日》 大峰の山 釈迦岳～孔雀岳(勝尾)	5
・自主山行 《7月12日》 大峰の山 百合ヶ岳(橋本)	6
・自主山行 《7月19～20日》 両白山地 白山(玉越)	7
室内例会だより(6/24)	8
最近の山岳事故発生状況(長野県警)	10

8 月度 例会 山行 計画

～天涯の花キレンゲショウマを訪ねて～

8月8日(土)～8月9日(日) 四国の山《剣山》

〔L: 田中悦/緊連: 〕

【集 合】上牧町役場前駐車場 8月8日 6:00

【コース】

8月8日 ラ・フォルツるぎ山～(90)～塔丸～(70)～ラ・フォルツるぎ山(泊)

【歩行時間: 2 時間 40 分】

8月9日 見ノ越登山口～(50)～にしじま～(65)～次郎笈～(55)～

剣山～(50)～一ノ森～(70)～刀掛～(10)～にしじま～(35)

～見ノ越登山口 【歩行時間: 5 時間 35 分】

夏山山行

8月24日(月)～8月27日(木): 北アルプス《白馬～唐松岳》

〔L: 島崎/緊連: 〕

【集 合】王寺 8月24日 12:00(出発)

【コース】

8月24日: 王寺 12:00 発～猿倉P場 19:00 頃着

8月25日: 猿倉～白馬大雪渓～白馬岳～白馬山荘泊

【歩行時間: 6 時間弱】

8月26日: 白馬山荘 7:00 発～唐松山荘 15:00 着

【歩行時間: 約 7 時間】

8月27日: 唐松山荘 7:00 発～ゴンドラ八方駅 10:30～猿倉～

王寺(20:00)

西大和山の会 カレンダー

8 月			9 月		
1	土	7/30~8/3 例会1表銀座(藤井)	1	火	県連理事会(19:30~)
2	日	岩稜歩行訓練講習会	2	水	
3	月		3	木	県連ハイキングリーダー学校(座学)
4	火	県連理事会(19:30~)	4	金	
5	水		5	土	
6	木		6	日	県連:広域搜索訓練
7	金		7	月	
8	土	8/8~9 例会山行2 剣山(田中悦)	8	火	
9	日		9	水	
10	月		10	木	県連ハイキングリーダー学校(座学)
11	火		11	金	
12	水		12	土	
13	木		13	日	例会山行2 稲村ヶ岳(今井) 県連ハイキングリーダー学校(実山行)
14	金		14	月	
15	土	『西大和つうしん』9月号原稿締切	15	火	
16	日		16	水	
17	月		17	木	9/17~21 自主山行大キレット(的場)
18	火		18	金	
19	水		19	土	
20	木		20	日	
21	金		21	月	
22	土	臨時総会(事務所 14:30~)・室内例会・暑気払	22	火	
23	日		23	水	
24	月	8/24~27 例会1 白馬~唐松(島崎)	24	木	『西大和つうしん』10月号原稿締切
25	火		25	金	9/25~27 例会1 金峰山・瑞穂山(藤本)
26	水		26	土	
27	木		27	日	
28	金		28	月	
29	土		29	火	
30	日		30	水	室内例会(PM7:30~)
31	月				

山行・行事等参加メモ

入会順		7/29 室内例会	8/2 岩 稜歩 行訓 練						
1	(窪田)								
2	都築								
3	藤井								
4	(石田)								
5	多賀								
6	田中悦								
7	島崎								
8	田中初								
9	村田								
10	林								
11	辻								
12	勝尾								
13	藤本								
14	杉村								
15	高橋								
16	玉越								
17	的場								
18	杉川								
19	阪口								
20	橋本								
21	今井								
22	亀高								
23	松浪								
24	亀井								
25	船江								
26	野路								
27	竹川								
28	森川								
	合計								

県連ハイキング・リーダー学校（登山学校）教育山行
 テーマ：ルート・ファインディング
 台高の山：《高見山北尾根・黒石山 915.2m》

【日 程】6月20日（土）曇り

【参加者】L 中武（奈良労山）/ 杉川 / 今井 / 橋本・亀井（計5名）

【コースタイム】滝野（9:05）～P. 634（10:40）～三角ピーク（11:37/12:00）～高見山北尾根到達（13:00）～黒石山〔P. 915.2〕（13:12/35）～P. 659（16:55）～登山口（18:05）

高見山北尾根のルートファインディング山行。

滝野の奥まった所に車をデポし平野川沿いに南下。私の不安な気持ちを押し量った様に P.634 が威圧感をもって迫ってくる。

ひねり阪橋で早速ルートファインディング。もう少し南下し次の橋で林道に入ることにした（この橋には東吉野小学校指定水泳場の表示有り。海かプールしか知らない私にはカルチャーショック）。林道を少し歩き支流を過ぎた所から P.634 に取り付く。切り株は朽ち果て、踏み跡も全くない急登を喘ぎ々登頂。

地形図とコンパスで確認しながら小ピークを2つ越え小休止。アップダウンを繰り返し進行方向を確認しながら等高線が混み合った急斜面迄来た。間伐の為、山師さんの踏み跡は有るが、間伐材が足元に転がって歩きにくい。その急登を又々喘ぎながら登る。やっと開けた所で振り返ると、高見山、すっかり伐採された山々。その為の林道等が綺麗に見え、一寸疲れが薄らいだ。それをバックに記念写真を撮る。西側には北尾根が目前に迫っていた。北尾根は左右が谷で綺麗な稜線。これを北上すると本日最高峰の P.915.2（黒石山）に到着。

遅い昼食を済ませ、先ほど登ってきた道を戻る。分岐点が全く分からない。二方に分かれ探すが違う。「では朝登って来た場所は」と聞かれ探すが分からない。「方向的には合ってるがこんな45度以上の急斜面、絶対違う。」と思う。N氏は「踏み跡を探せ」と言われるが転落しそうになり私はギブアップ。でも先輩方は分かれて探す。結局この急斜面を朝登ったらしい。「思い込みは絶対ダメ。登りながら周りをチェック。もし難しそうだと印を付けておくこと。」等々習う。分岐点はすぐそこと言われても分からない。覗き込むと確かに道がある。回り込んで下の道に行く。下山は難しいと言われるが十分分かった。これより先は先輩のS氏が先頭を務める。P.659 迄の下山もとっても難しく先輩の読図は流石と舌を巻きました。L字尾根からは新人に任せてもらって（でも不安）登山口が見えた時の安堵感と嬉しさ。

今日1日学んだことを肝に銘じもっと地図読みに精通したいと思いました。講師のN氏、先輩方根気よく付き合って頂いて有り難う御座いました。（記：亀井）



例会山行2 大峰の山 《釈迦岳～孔雀岳》

【日 程】6月28日(日) 晴れ時々曇り

【参加者】L島崎・S L林・今井・亀井・船江・竹川・勝尾

【コース】太尾登山口(9:30)～分岐(10:10)～古田の森(10:50)～千丈平水場(11:30)～釈迦岳(12:00～12:30)～孔雀覗き(13:45)～孔雀岳(13:55)～釈迦岳(15:35)～登山口(17:40)

普段の荷物に2ℓの水を加えたザックを背負っての夏山訓練山行。気持ちを引き締めて、イザ出発。登山口から登り始めて暫くすると、道端にピンクの綺麗な花を付けたショウキランが、5,6株寄り添って咲いていた。こんなに目立つ所に、それも沢山で。ショウキランの出現に皆の気持ちが華やく。

分岐を過ぎ登るにつれ、木々も疎らになり倒木も目立つ様になって、小笹やバイケイ草の群生している緩やかな草原状の尾根を古田の森へ。右に大日岳とそれに続く山々が見え、正面にはちょっと右に傾いた釈迦岳。左手には黒い雲に覆われた遠くの山並みが見える。そこから一気に下り、又千丈平、釈迦岳に登り返す。

釈迦岳頂上では、お釈迦様の周りに沢山の登山者が休んでいた。予定どおりここで昼食にする。孔雀岳への激下りの登山路から吹き上げてくる強風で、周りにはたちまちガスに覆われてしまった。

食事後、その登山路を下る。浮石のゴロゴロとした急斜面で、落石に細心の注意を払っていたつもりにもかかわらず、数度落としてしまった。どれもスピードが出る前に止まったので良かったが・・・。強風の中、切れ立った稜線を慎重に進む。行場のエンの鼻の様な色々な形の大岩が聳え立ち、孔雀ジャンとでも呼べそうな鋭い峰々を持った岩山が、間近に迫って見える迫力のある所もあった。昨年の山行時に引き返したという、お札の置いてある行場を過ぎ、孔雀岳かと思っていたピークも越え、孔雀覗きを過ぎてやっと念願の孔雀岳に到着した。今回は涼しい気温と強風ではあったが風のお陰で、体力の消耗も少なく、以前来た時と比べて比較的楽に登れたと思う。下りで孔雀覗きを楽しみ、岩場鎖場を慎重に下って、釈迦岳に登り返し、8時間掛けて登山口に到着した。

今回も古田の森では鹿の群れに、車で駐車場から出てすぐの林道では可愛い子狐に出会いました。元気で大きくなってね。(記：勝尾)



自主山行 大峰《大所山（百合ヶ岳 1,345.8m）》

【日 程】7月12日（日）晴れ

【参加者】L 亀高・S L 今井・船江・橋本

【コース仏】登山口(8:50)～琵琶の滝(9:30)～女郎岩(11:32)～百合ヶ岳(12:00/12:40)～展望岩(12:52)～石清水～登山口(14:00)

夏山に向けての訓練山行「迷い岳」が雨の為中止となり、長い行程をしばらく歩いていなかったので不安に思っていた。鳳凰三山山行の参加者の方々も同じような思いがあった様で T さん、I さんが急遽色々考えて下さり自主山行が計画された。急な計画であり又車1台の為今回は、鳳凰三山の参加者のみの声掛けとなり実行された。

さて百合ヶ岳は、2013年に例会山行で参加したのだが急登だった事だけが思い出される。

登山口からまず「琵琶の滝」を目指す。倒木などがあり少し道が荒れ、狭い路肩もあり慎重に歩く。でもしっかりした吊り橋が設置してあり渡渉が大の苦手な私には有難かった。立派な滝を眺めた後、山頂に向かう登山道を探しながら引き返す。目印のテープがありそこから登り始めるが、なかなかの急登！

息を切らせながら登るが平坦な道にならず、直登に近い登山道に続く。木の根っこを掴みながら登っていくと「女郎岩」に着いた。この岩を登ると美しいブナ林の中を抜け山頂に着く。

山頂は私たちだけだったので静かなひと時を過ごし疲れた体を休める事ができた。下山途中の展望岩では、台高の山々、特に尖峰の白鬚岳が雄大に見えた。短時間の山行だったが、単独ではいけない山でもあり又、厳しい登りがあり体を慣らすことが出来本当によかった。ヒル、蛇、蛙など小動物(?)などにも出会い油断できない山行でもあった。

滝を眺めるのは楽しみだが、川の岩場を歩くのが苦手で転倒せず歩くことが今後私の最大の課題である。今回もドキドキ鼓動を覚えながら歩いていた。慣れるしかないかな・・・ (記：橋本)



自主山行
日本三霊山 白山 (2,702m)

【日 程】2015年7月19日(日)～20日(月・祝)

【参加者】L杉川・SL今井・玉越

【コース仏】**19日**：別当出合(6:15)～中飯場(7:05)～別当観(8:05)～甚之助避難小屋(9:00)～南竜分岐(9:35)～南竜山荘(10:10)～道間違い～南竜ヶ馬場(11:00)

20日(5:30)～展望台(6:20)～室堂(7:00)～白山奥宮(7:45)～室堂(8:20/45)～南竜ヶ馬場(10:00/10:50)～分岐(11:25)～甚之助避難小屋(11:45)～中飯場(12:50)～別当出合(13:30)

台風の影響で予定していた鳳凰三山の山行が中止となった。しかし諦めきれず、台風一過の晴天を期待して1日ずらして白山へ向かった。

19日(曇り後雨): 多彩なお花が楽しめるこの時期の3連休。直前ではもちろん小屋の予約は取れず、南竜ヶ馬場にテントを張ることになった。1泊とはいえ、小屋泊とテント泊では荷物の重量が倍ほど違う。別当出合から始まる淡々とした砂防新道の登りは、一步ずつ足を踏みしめてゆっくりゆっくり登った。この辺りではマイヅルソウ、キヌガサソウが咲いていた。途中の中飯場と甚之助避難小屋にはトイレと水場があって休憩に最適なのだが、なぜか毎回その5分ほど手前の広場で力尽きて休憩してしまった。

南竜分岐から南竜山荘までは緩やかな下りで、ハクサンコザクラ・ハクサンフウロ・イブキトラノオ・ニッコウキスゲなど花の種類も増える。南竜山荘で受付をしてからテン場へ向かう途中で分岐を見落とし、翌日登る展望歩道を進んでしまった。行けどもテン場がないので引き返し、分岐にある雪渓を越えてようやくテン場に到着するころには、雨が降り出してしまった。濡れながらテントを張り、一息ついて昼食を摂った。ガイドが自然観察会をして、この時期ここにしかない花などを解説してくれるのだが、雨と風がきつくなってきたので大人しくテントの中で過ごした。テン場は広々としていて、炊事場とトイレが別々で、きれいに使われている。ケビンも4棟建っていた。雨の中、夕暮れまでにはたくさんのテントが立てられた。

20日(晴れ): 雨は明け方には止み、雲のあいだには青空が見える。5時半、胸を躍らせて出発。テントに荷物を置いて、サブザックで展望歩道を室堂まで登る。山の緑と青空と雪渓の白が美しい。「日ごろの行いが良いからだ」と何度褒め合ったことか。展望台からは乗鞍・御岳・恵那山、遠くには八ヶ岳が見えた。天気はいいし、荷物も軽い。そして他に人がいない! 贅沢な景色を独占する優越感に浸りつつ、クロユリ・クルマユリ・コイワカガミ・イワギキョウ・コバイケイソウなど花を楽しみながら清々しい稜線歩きが続く。

室堂からは登山客が一気に増え、ハイマツの中を連なって登る。次第にガスが

たちこめ、御前峰付近では非常に風がきつかった。展望が期待できないため、今回はここで引き返すことにし室堂に戻る。

池めぐりの約1時間を省略したので、天気が崩れる前にテントの撤収ができた。テン場で昼食を摂り、再び重たい荷物を担いで砂防新道を下山する。しばらくいい天気が続くという予報のせい、登りの登山客がすごく多い。整備され比較的広い道が多いのだが、すれ違いに立ち止まることも度々ある。こうしてちょこちょこ休憩しながら別当出合に戻ってきた。日射しが強く、振り向けば山の上も晴れている様子。いつもなら悔しい気持ちがするのだが、今回はこれで十分。大満足の山行だった。

白山にはたくさんの登山コースがあるが、これもまたこの山の魅力だろう。話をした人には石川県の人が多く、この山がいかにか地元の人に愛されているかが分かる。またコースや季節を変えて何度も訪れたい。

(記：玉越)

~~~~~

## 室内例会だより

【日時】2015年6月24日(水) 19:30 ~ 21:05 事務所

【出席者】藤井、多賀、田中悦、島崎、田中初、村田、林、辻、勝尾、藤本、杉村、高橋、玉越、的場、杉川、阪口、今井、亀高、亀井、船江、竹川、森川、橋本

### 1. 山行案内

- 6月28日(日) 夏山訓練山行第1回 大峰の山(釈迦ヶ岳~孔雀岳) L 島崎
- 7月5日(日) " 第2回 台高の山(迷岳) L 藤井
- 7月19日(日) 例会山行2 湖東の山(伊吹山) L 辻
- 8月8日(土)~9日(日) 例会山行2 四国の山(剣山) L 田中悦
- 夏山山行
- 7月17日(金)~19日(日) 夏山山行 南アルプス(鳳凰山三) L 藤本
- 7月30日(木)~8月3日(月) 夏山山行 北アルプス表銀座 L 藤井
- 8月24日(月)~27日(木) 夏山山行 北アルプス(白馬~唐松岳) L 島崎

## 2. 山行報告

- 5月24日(日)例会山行 丹波の山(御岳・小金ヶ岳) L 坂口  
14名
- 5月29日(金)～30日(土)自主山行 大峰の山(狼平～八経ヶ岳) L 藤本  
9名
- 5月30日(土)自主山行 大峰の山 (稲村ヶ岳) L 的場  
3名
- 6月 7日(日)例会山行2 県連クリーンハイク(金剛山・郵便道) L 辻  
15名 (会員13名一般2名)
- 6月 7日(日)県連ハイクリーダー学校 大峰山系(洞川温泉付近)地図読み山行  
L 亀井 4名 (他会1名)
- 6月10日(水)自主山行 大台ヶ原(東大台) L 島崎  
4名
- 6月12日(金)～14(日)自主山行 大峰の山(カラハツソウ谷～神仙平)L 藤本  
4名

## 3. 連絡その他

夏山山行に向けての岩稜訓練について

講師 県連教育部長 中武佳史氏

訓練場所 京都・金毘羅山Y懸尾根

実施日 7月26日(日)参加者 島崎、林、勝尾、今井、亀井、船江・橋本

8月 2日(日) " 今井、野路、杉村、森川

講師の費用、各自の装備など詳細は当会教育部藤本さんより連絡有ります。

遭難対策基金について

確認事項として縦走山行に参加する場合遭難対策基金は、当会にて必ず5口以上加入すること。本会山行規定(4)明記

山行計画書提出について

2015年5月9日運営員会にて決定された山行計画書提出先について再検討する。

会費改定について

会費改定に伴う規約案をメールにて提示されているので確認しておいて下さい。8月22日臨時総会にて決定いたします。

女子部より

7月4日(土)県連女性委員会主催テーピング講習会

参加者 林、高橋、杉村、今井、亀井

教育部より

新入会員対象初級講座6月26日(金)より開始。今後の予定は、HPにUPされています。該当者以外の方でも受講できます。

新会員紹介

森川 満さん再入会されました。

(記： 橋本)

## 1.最近の山岳事故発生状況<長野県警>

| 日付    | 場所    | 年齢 | 性別 | 態様    | 死傷別  | 状況                                     |
|-------|-------|----|----|-------|------|----------------------------------------|
| 7月14日 | 伊那前岳  | 13 | 女  | 病気    | 無事救出 | 木曾駒ヶ岳へ向け登山中、7合目付近で、熱中症を発症              |
| 7月15日 | 奥穂高岳  | 39 | 男  | 落石    | 負傷   | 涸沢から奥穂高に向け登山中、落石を受け、負傷                 |
| 7月16日 | 白馬岳   | 53 | 男  | 滑落    | 負傷   | 大雪渓を下山中、雪渓上部でスリップし、滑落、負傷               |
| 7月17日 | 本谷    | 74 | 男  | 滑落    | 死亡   | 本谷上部において、滑落、死亡                         |
| 7月19日 | 白馬鎧ヶ岳 | 29 | 女  | 転倒    | 負傷   | 猿倉から白馬鎧温泉に向け登山中、転倒し負傷                  |
| 7月20日 | 天狗ノ頭  | 47 | 男  | 転倒    | 負傷   | 天狗ノ大下りの岩場で、転倒し負傷                       |
| 7月20日 | 西岳    | 48 | 女  | 転倒    | 負傷   | 水俣乗越付近を縦走中、バランスを崩し転倒、負傷                |
| 7月20日 | 五竜岳   | 41 | 女  | 疲労凍死傷 | 無事救出 | 五竜岳から白馬五竜スキー場に向け下山中、疲労により自力歩行できなくなったもの |

## 2.山岳安全対策のワンポイントアドバイス

先週は熱中症により行動不能となる遭難が発生しました。標高の高い山岳地帯は、下界と比べると涼しく感じますが、行動中は体温も上がるので、熱中症を発症する場合があります。行動中は、水分・塩分を補給し、帽子を被るなど、日よけ対策も行いましょう。

また、転倒による遭難も多く発生しているので、歩行中は足元を良く見て一步一步慎重に歩きましょう。

# 西大和つうしん

第398号(2015年8月号)

2015年7月29日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 的場喜義

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32

窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<http://www.nishiyamatoyama.com/>